

いろんな表現と遊びを体験できる
クリエイティブワークショップ！
全国で子ども向けのワークショップを数多く手掛ける
俳優・演出家の有門正太郎のもとに集まった
松山のアーティストたちが、
ワクワクする表現との出会いをコーディネート！
みんなと思いきり遊びたい子たち、あつまれー！！

プログラム

- 音楽の時間
- からだの時間
- 絵を描く時間
- 演劇をする時間
- 未来のことを考える時間



日時

2022
11/26 土
2023
1/6 金 1/7 土

各日 10:30-15:00
※11/26と1/6と1/7の内容は変わります。

こどもの表現を考えるラボ企画

ワークショップ

参加無料

とび・かく・はねる

こどもあそびラボ

会場 シアターねこ [松山市緑町1-2-1]
※専用駐車場はございません。
お近くのコインパーキングをご利用ください。

対象 小学校1～6年生

定員 各日10名

持ち物 飲み物、お昼ごはん
※汚れてもいい・動きやすい服装でお越しください。

申込み メールまたは参加フォーム(QRコード)より
お申込みください。
※名前、住所、電話番号、年齢を明記



〈メールアドレス〉
bunkamatsuyama@gmail.com

問い合わせ：松山ブンカ・ラボ ☎080-9833-9869
ホームページ：https://bunka-lab-matsuyama.com

「子どもに寄り添う」とは言うけれど、それってどういうことなのでしょう？

「子どもの想像力を引き出す」とは言うけれど、

それってオトナが誘導しているんじゃない？

一堂に会したオトナたちが子どもについて表現という切り口で対話し、

オトナ自身の学びの場となることを目指す実験場として、

ラボメンバーのみなさんと2年間学びを深めてきました。

そのひとつの成果として、今回は俳優で演出家の有門正太郎さんと作り出した

小学生を対象にしたワークショップを3日間にわたり開催します。

あたまからたき
つかって表現を
たのしみ

からだを
お話しする

まるであそび

線から広がる
世界をつくる

音を
そうぞうする

いっしょに
未来を考える



プロフィール



こどもの表現を考えるラボ

ラボメンバーは、和泉元守、越智香苗、桐子カナル、竹内ひとみ、田村祐子、土山あやか、牧野陽子、山本千絵。こどもの表現について2年間、皆で学びを深めてきました。こどもたちと大事にしたいものは何か、それぞれの得意をどう活かすか等、メンバーたちと考え続けています。



有門正太郎〔俳優、演出家〕

倉本聰主宰「富良野塾」、泊篤志代表「飛ぶ劇場」を経て、「有門正太郎プレゼンツ」を始動。北九州芸術劇場「日韓 合同キャンプ〜チャレンジ! えんげき〜」総合演出、かすがい市民文化財「演劇×自分史」作・演出も務める。佐藤佐吉賞優秀主演男優賞受賞(2016)。



阿比留ひろみ〔アートコーディネーター〕

大学卒業後、一般企業勤務を経て静岡県袋井市月見の里学遊館企画スタッフを務め、ワークショップや講座などを担当。その後、大学勤務の傍らNPOにて子供向けワークショップ等を企画制作。一般財団法人地域創造・芸術環境部を経て、(一社)あひるタイガ社を設立。代表理事。

松山ブンカ・ラボとは

松山市が2018年3月に策定した「松山市文化芸術振興計画」に基づき愛媛大学社会共創学部寄附講座として実施している文化芸術推進のための中間支援事業です。

※松山ブンカ・ラボのプログラムはどなたでも参加できます。
申込みをするにあたって不明なことがある方や、
障害をお持ちで不安や心配事のある方はご相談ください。

新型コロナウイルス対策に関して

新型コロナウイルスの感染状況によって実施方法や会期・時間の変更等が生じる場合には、松山ブンカ・ラボのホームページ「INFORMATION」にてお知らせいたします。

主催：愛媛大学社会共創学部 松山アートまちづくり寄附講座
松山ブンカ・ラボ、松山市、松山市文化創造支援協議会